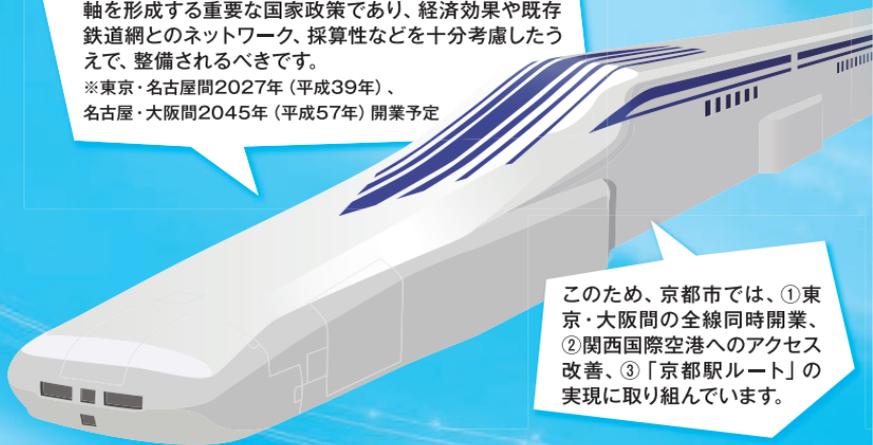


日本の未来のために

リニアを、京都へ。

今、リニア中央新幹線(※)は、京都を通らないルートで計画されています。リニア中央新幹線は、新たな国土軸を形成する重要な国家政策であり、経済効果や既存鉄道網とのネットワーク、採算性などを十分考慮したうえで、整備されるべきです。

※東京・名古屋間2027年(平成39年)、
名古屋・大阪間2045年(平成57年)開業予定



このため、京都市では、①東京・大阪間の全線同時開業、②関西国際空港へのアクセス改善、③「京都駅ルート」の実現に取り組んでいます。



ご存じですか？

リニア中央新幹線開業後、東海道新幹線は「のぞみ」の運行本数が大幅に減少し、「ひかり」「こだま」中心のダイヤになる予定です。

ルート検証の 必要性

昭和48年に基本計画として決定された現行ルートは、時速250kmの新幹線を前提としたものです。時速500kmのリニアは、整備の位置づけはもとより、需要予測・時間短縮による経済効果等も大きく変わるため、今、改めて、全日本新幹線鉄道整備法の趣旨に基づいたルートの検証が必要です。

リニアを、京都へ。

京都市では、京都府、経済界とともに、東京・大阪間の同時開業、関西国際空港までのリニア延伸、「京都駅ルート」の実現に向けた取組を推進しています。

● 問合せ 京都市リニア誘致推進室 ☎075-222-3059